

2025 年度事業計画書

成立の日 から 2026 年 3 月 31 日まで

(特定非営利活動法人わらしべの会)

1 事業実施の方針

持続可能な寄付の在り方として循環型・社会参画型の仕組みを取り入れ、不特定多数の方々へ支援活動を行い地域の活性化と社会貢献、福祉の充実を目指します。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費の予 算額 (円)
子供用物品の シェアリング事業 わらしべの会	次年度開催の告知と物品寄付受付	随時	市内	5 人	一般市民  40~50 人	80,000
子供の居場所事業 (未来塾)	不登校や引きこもり、発達障がい など、生き方に不便を感じる子供 達に、特別授業や勉強会を開催	月 2 回 実施	市内	6 人	生徒・父兄 5~6 人/回 20~30 人	12,000/回  72,000
福祉活動事業	盲導犬啓発運動 (未来塾)	2025/3	市内	4 名	一般市民 6~8 人	20,000
健康寿命の延伸 介護予防事業	シニアの脳トレピアノ教室 (未来塾)	2025/3	市内	2 名	高齢者民 5~6 人	18,000

(2) その他の事業 無し

(備考)

- 1 設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業計画書をそれぞれ別葉として作成する。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数、受益対象者の範囲及び予定人数並びに事業費の予算額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び予定人数」の欄には、具体的な受益対象者及び予定人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数及び事業費の予算額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、設立当初の事業年度及び翌事業年度に実施予定がなくても「予定なし」の旨を記載する。

2026 年度事業計画書

2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

(特定非営利活動法人わらしべの会)

1 事業実施の方針

持続可能な寄付の在り方として循環型・社会参画型の仕組みを取り入れ、不特定多数の方々へ支援活動を行い地域の活性化と社会貢献、福祉の充実を目指します。  
また、健康寿命の延伸・介護予防事業については広報などで告知、利用数の拡大を図る

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額(円)
子供用物品のシェアリング事業 わらしべの会	物品寄付循環型の交換システムと、施設関連に社会参加の場所を提供	月 7 回 年 84 回	市内	5 人/回 年 420 人	施設関連・一般市民 230 人/月	27,000/回 2,268,000
子供の居場所事業	不登校や引きこもり、発達障がいなど、生き方に不便を感じる子供達に、特別授業や勉強会を開催	月 2 回 実施	市内	2 人 年 48 人	生徒・父兄 7~8 人/回 年 170 人	12,000/回 288,000
福祉活動事業	盲導犬啓発運動	年 1 回 (継続)	市内	5 名	一般市民 6~8 人	28,000
健康寿命の延伸 介護予防事業	シニアの脳トレピアノ教室 専門医による認知症予防講座	年 4 回	市内	4 名/回 年 16 人	高齢者・市民 40~50 人	84,000

(2) その他の事業 無し

(備考)

- 1 設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業計画書をそれぞれ別葉として作成する。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数、受益対象者の範囲及び予定人数並びに事業費の予算額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び予定人数」の欄には、具体的な受益対象者及び予定人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施予定日時、実施予定場所、従事者の予定人数及び事業費の予算額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、設立当初の事業年度及び翌事業年度に実施予定がなくても「予定なし」の旨を記載する。